

平成30年8月22日

産業経済局 商業・サービス産業政策課

## 第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州まちづくり応援団（株）
会社概要	会社の 事業概要	1 指定管理事業 2 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 3 その他自主事業
	資本金額	32,000 千円
	本市の出資額	1,000 千円
	本市の出資割合	3.125 %
	従業員数	32 人
営業報告の要点		<p>小倉地区の中心市街地の賑わい創出のため、次の活動を行った。</p> <p>1. 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」及び「水環境館」の指定管理者として、施設の管理・運営を行った。 小倉城の入場者が対前年比102%で年間19万人超、小倉城庭園の入場者についても対前年比106%の7.7万人と、両施設ともに増加しており、入場料収入並びに売店売上も前年を上回った。</p> <p>2. 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 予定通り実施した。</p> <p>3. その他自主事業 「サンリオ小倉ビル管理事業」については、賃貸していたビルのオーナーが変わったことで事業撤退した。それに伴い、九州経済産業局へ補助金360万円を返還した。</p>
収支状況 の要点	当期純利益	1,616 千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高 279,736千円（前年度比104千円増） （前年度279,632千円）</li> <li>・経常利益 7,187千円（前年度比1,171千円減） （前年度8,358千円）</li> <li>・当期純利益 1,616千円（前年度比5,042千円減） （前年度6,658千円）</li> </ul>
	その他 （剰余金・欠損金、設備 投資、資金調達など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期末（平成29年3月31日）の繰越利益剰余金 6,787千円</li> </ul>
繰越利益剰余金		8,403 千円
株主総会 〔平成30年6月20日 開催〕	監査報告	監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1)決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第13期事業報告及び決算案承認の件</li> <li>・ 第2号議案 取締役選任の件</li> </ul>

(平成30年3月31日現在)



北九州まちづくり応援団株式会社

平成 29 年度 経営状況報告

平成 30 年 8 月 22 日  
産 業 経 済 局



## 1号議案

## 平成29年度事業報告書

〔 自：平成29年4月1日 〕  
〔 至：平成30年3月31日 〕

### 活動の概要および成果

第13期(平成29年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④「サンリオ小倉ビル」管理事業の4つに絞り、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に寄与してまいりました。

指定管理事業(小倉城・小倉城庭園・水環境館)のうち、まず小倉城につきましては、入場者が前年度(平成28年度)に大幅に伸長(122%)した反動も見られましたが、インバウンド効果が続く中、年間19万人を超える数の入場者があり、なんとか、対前年102%を達成できました。また、小倉城庭園につきましても、計画通りイベントや企画展を開催できたこともあり、入館者7.7万人、対前年比106%と大幅に達成できました。水環境館につきましては、4ヶ月のリニューアル工事などありましたが、経費を圧縮するなど利益改善に努めました。以上の状況を反映し、入場料収入ならびに売店売上なども予算を上回り、最終損益の改善につながりました。

小倉城・小倉城庭園の来場者の属性面について補足させていただきます。海外からのお客様が、累計で7.8万、対前年比で112%となりました。特に、韓国からのお客様につきましては定期便の就航(平成28年12月)以来、引き続き多くの方々が訪れていただくようになっております。

「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」につきましては、おおむね予定通りの活動ができ、ほぼ予算通りの利益が確保できました。小倉地区の中心市街地の賑わいづくり・活性化にも寄与できたものと考えます。

一方、「サンリオ小倉ビル管理事業」につきましては、事業の途中でビルオーナーが替わったこともあり、平成29年9月末のビル賃貸契約満了をもって、事業撤退しました。その結果、退去に伴う費用(設備撤去、移転先改修、移転費用など)が一時的に発生しました。更に、九州経済産業局への助成金返還により、360万円の特別損失を計上しました。

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、2億7,974万円(対前年100.1%)と事業の整理等の影響はありましたが、前年並みを確保しました。販売費および一般管理費の改善などの効果もあり、経常利益は1,080万円と、前年の836万円から更に改善し、特別損失及びサンリオビル設備の資産除却損を入れても当期利益が172万円と黒字計上できました。

## 貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

平成30年3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【69,059,108】</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>【26,120,235】</b>
現 金	3,585,656	未 払 費 用	17,093,718
預 金	55,174,854	未 払 法 人 税 等	104,300
商 品	2,882,097	預 り 金	2,109,676
貯 蔵 品	1,928,315	仮 受 金	3,819,741
未 収 入 金	5,488,186	未 払 消 費 税	2,992,800
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【2,485,109】</b>	<b>【 固 定 負 債 】</b>	<b>【5,020,000】</b>
(有形固定資産)	(2,175,109)	長 期 借 入 金	5,020,000
建 物 附 属 設 備	2,175,109	<b>負 債 合 計</b>	<b>31,140,235</b>
(投資その他の資産)	(310,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000	<b>純 資 産 の 部</b>	
出 資 金	10,000	<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>【40,403,982】</b>
敷 金	240,000	資 本 金	32,000,000
		(利益剰余金)	(8,403,982)
		その他利益剰余金	8,403,982
		繰越利益剰余金	8,403,982
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>40,403,982</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>71,544,217</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>71,544,217</b>

## 損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

単位：円

科 目	金 額	
<b>【 売 上 高 】</b>		
事業収入金	52,206,666	
小倉城関連売上	227,529,854	279,736,520
<b>【 売 上 原 価 】</b>		
期首棚卸高	2,750,427	
小倉城関連売上原価	13,309,631	
仕入高	42,865,123	
※ ※ 合計 ※ ※	58,925,181	
期末棚卸高	△2,882,097	56,043,084
<b>売上総利益金額</b>		<b>223,693,436</b>
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		<b>213,270,585</b>
<b>営業利益金額</b>		<b>10,422,851</b>
<b>【 営 業 外 収 益 】</b>		
受取利息	549	
雑収入	436,167	436,716
<b>【 営 業 外 費 用 】</b>		
支払利息割引料	63,048	
雑損失	3,608,827	3,671,875
<b>経常利益金額</b>		<b>7,187,692</b>
<b>【 特 別 損 失 】</b>		
固定資産除却損		5,469,085
<b>税引前当期純利益金額</b>		<b>1,718,607</b>
法人税、住民税及び事業税		102,400
<b>当期純利益金額</b>		<b>1,616,207</b>

## 販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

単位：円

科 目	金 額
雑 給	118,300
福 利 厚 生 費	63,075
旅 費 交 通 費	60,036
通 信 費	186,143
減 価 償 却 費	589,956
賃 借 料	614,880
保 険 料	102,681
修 繕 費	2,160,000
水 道 光 熱 費	432,460
消 耗 品 費	169,294
租 税 公 課	572,321
支 払 手 数 料	53,430
諸 会 費	258,580
会 議 費	16,626
清 掃 費	231,050
警 備 業 務 費	60,500
地 代 家 賃	2,933,335
事 業 運 営 費	3,307,203
協 賛 金	380,000
雑 費	769,879
小倉城関連諸経費	200,190,836
合 計	213,270,585

## 小倉城関連諸経費の内訳

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	63,372,315
賞 与	12,330,000
雑 給	9,300,150
法 定 福 利 費	12,774,934
福 利 厚 生 費	4,280,006
委 託 費	142,778
旅 費 交 通 費	1,067,063
通 信 費	1,328,649
交 際 費	284,847
賃 借 料	746,118
保 険 料	1,443,460
修 繕 費	1,155,100
水 道 光 熱 費	10,770,078
消 耗 品 費	1,879,754
租 税 公 課	175,162
車 両 費	39,997
広 告 宣 伝 費	4,676,189
印 刷 物 等 作 成 費	2,831,518
支 払 手 数 料	771,563
諸 会 費	141,295
新 聞 図 書 費	73,107
呈 茶 関 連 費 用	5,921,225
文 化 関 連 費 用	34,673,659
維 持 ． 清 掃 費	16,735,273
警 備 業 務 費	1,227,228
保 守 点 検 費	4,533,400
協 賛 金	5,600,000
会 議 費	11,464
雑 費	1,904,504
合 計	200,190,836

## 株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

単位：円

<b>株主資本</b>			
資本金	当期首残高及び当期末残高		<u>32,000,000</u>
<b>利益剰余金</b>			
<b>その他利益剰余金</b>			
繰越利益剰余金	当期首残高		6,787,775
	当期変動額	当期純利益	<u>1,616,207</u>
	<b>当期末残高</b>		<u><b>8,403,982</b></u>
<b>株主資本合計</b>	当期首残高		38,787,775
	当期変動額		<u>1,616,207</u>
	<b>当期末残高</b>		<u><b>40,403,982</b></u>

## 個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）

並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

### 貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額

75,391 円

### 一株当たり情報に関する注記

一株当たり情報

一株当たりの純資産額

63,131 円 22 銭

一株当たりの当期純利益又は当期純損失

2,525 円 32 銭

## 監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社  
代表取締役社長 原田 康 様

第13期事業年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日迄）の  
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。  
その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

平成30年5月28日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役： 庄山和利



【2号議案】 取締役選任（案）について

(1) 取締役の選任（案）

氏名	生年月日		備考	
利島康司		取締役	北九州商工会議所 会頭	(留任)
原田康		取締役	北九州商工会議所 副会頭	(留任)
中村涉		取締役	北九州商工会議所 参事	(留任)
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問	(留任)
鮎川典明		取締役	北九州市 小倉北区長	(留任)
原賀一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株) 統括本部長	(留任)
庄山和利		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長	(留任)

・ 取締役の任期期間

至 第13回定時株主総会終結時 (平成30年6月20日)  
 至 第15回定時株主総会終結時 (平成32年6月末予定)

・ 監査役の任期

至 第11回定時株主総会終結時 (平成28年6月27日)  
 至 第15回定時株主総会終結時 (平成32年6月末予定)

## 第14期 平成30年度事業計画

〔 自：平成30年4月1日  
至：平成31年3月31日 〕

### 活動計画の概要

当年度は、前年度に引き続き ①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与してまいります。

「指定管理事業」のうち、小倉城につきましては、昨年度までの好調な入場者増の流れを維持していますものの、8月6日からのエレベーター新設及び展示施設刷新の工事で来年3月末まで休館となり、年度での営業収入が約6割落ち込むと予測しています。今回の指定管理の契約時には計画が無かった工事でもありますので、市に対して予算補填を要望しておりましたが、一部の補填に留まる見込みとなっておりますため、小倉城のイベント見直しなどで費用圧縮を織り込む計画としています。小倉城庭園につきましては、小倉城休館中の重要な収入源となりますので、無駄な経費は抑えながら、予定している企画展を計画通り実施し入場者数で5%増を目指します。水環境館につきましても、展示水槽のメンテナンスなどを内部に取り込むなど経費節減を実施します。

「共通駐車券事業」につきましては、引き続き、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」につきましては、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定しております。

結果として、第14期の売上高は2億3,600万円を見込んでおまして、経常利益については、±ゼロの計上となる目処がたったところです。

平成30年3月31日現在

## 会社の概要

## (1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

## (2) 事業所

本社

・北九州市小倉北区魚町2丁目6番1号

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園・水環境館）

・北九州市小倉北区城内2番1号（小倉城） 他

## (3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

## (4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
株式会社アパマンショップホールディングス	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

## (5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田康		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
中村渉		取締役	北九州商工会議所 参事
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問
鮎川典明		取締役	北九州市 小倉北区長
原賀一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
庄山和利		監査役	西鉄バス北九州(株) 取締役社長